

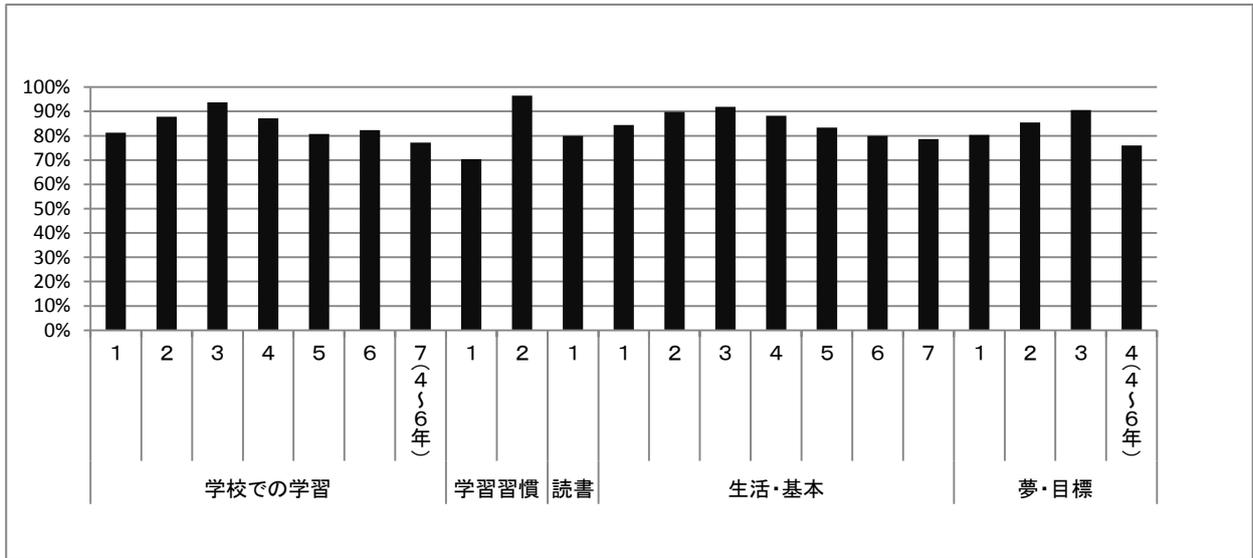


千代小学校だより 7号

思いやりのところをもつ、自立した子どもの育成
 ～素直な心・笑顔のあいさつ・感謝の心～

平成29年10月19日 文責 諸藤貴子

29年度前期学校評価（児童アンケートより）



こうもく	
学校での学習	1. 「生活科」や「総合的な学習の時間」では、自分で計画を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの、学習活動に取り組んでいる。 2. 授業では、学級の友達との間で話し合う活動を、よく行っていたと思う。 3. 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が、しめされていたと思う。 4. 授業の最後に、学習内容をふりかえる活動をよく行っていたと思う。 5. 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは、だいたいできている。 6. 学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 7. 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自分から考え、取り組んでいたと思う。
学習習慣	1. 自分で計画を立てて、自主学習をしている。 2. 学校の宿題をしている。
読書	1. 進んで、読書をする。
生活・きほん	1. えがおであいさつをしている。 2. 「ありがとう」「ごめんなさい」が、すなおに言える。 3. みんなと協力して、そうじができる。 4. 学校のきまりを守っている。 5. 人が困っているときは、進んで助けている。 6. 「ろうかを走らない」など、安全に気をつけている。 7. 家で手伝いをしている。
夢・目標	1. 自分には、よいところがあると思う。 2. 将来の夢や目標を持っている。 3. 人の役に立つ人間になりたいと思う。 4. 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。

前期の子どもたちのふり返りです。『人の役に立つ人になりたい』と子どもが思い、そのために必要な力を人との関係づくりのなかで学んでいます。学校は、全力で応援します。

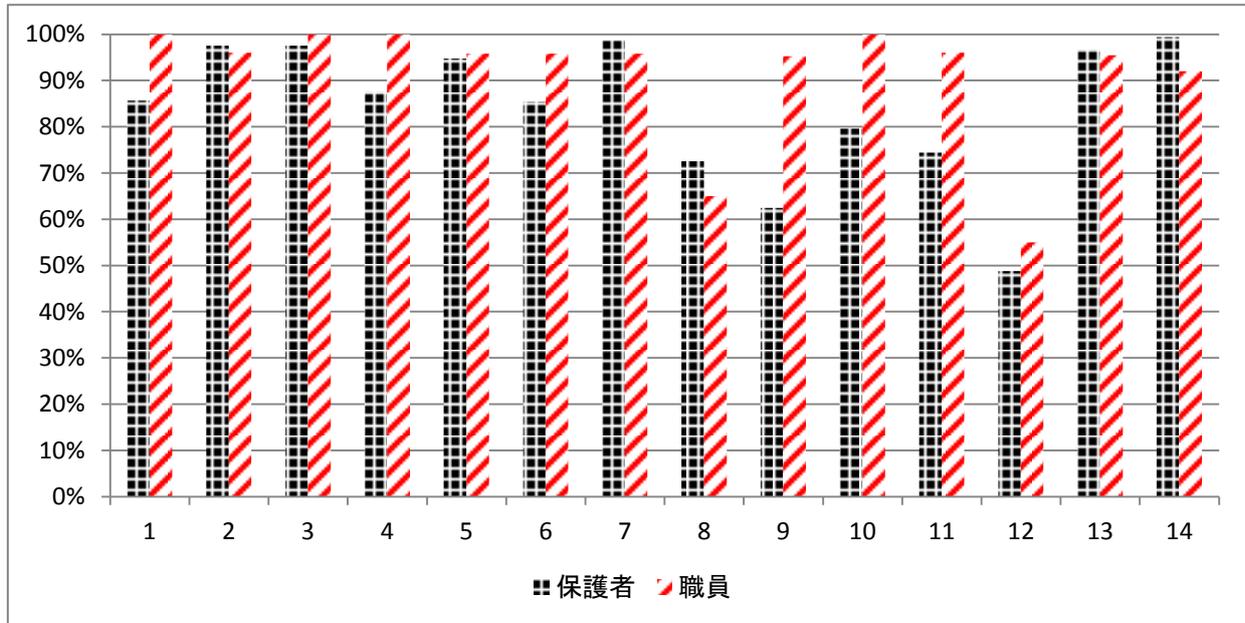


千代小学校だより 8号

思いやりのところをもつ、自立した子どもの育成
～素直な心・笑顔のあいさつ・感謝の心～

平成29年10月20日 文責 諸藤貴子

29年度前期学校評価（保護者・教職員アンケートより）



項目

- 1 すすんであいさつ
- 2 学校で楽しく過ごしている
- 3 友だちと仲良くしている
- 4 いじめの取り組み、対応
- 5 積極的な会話
- 6 学習意欲、態度
- 7 学習指導の工夫
- 8 家庭学習のようす
- 9 人のために役に立つ
- 10 心の醸成
(ありがとう、ごめんなさい)
- 11 時間・きまりを守る
- 12 読書
- 13 学校からの情報発信
- 14 行事を含めひらかれた学校
づくりへの取り組み

<保護者の声より、一部紹介します>

○子どもの姿から思うこと

- ・明るく元気な挨拶ができる。
- ・上級生が下級生の世話をする姿は、見ていて気持ちよい。
- ・学年を越えて仲良く遊んでいる姿を見て優しさや思いやりにつながっていると思う。
- ・素直でまっすぐに育っている。
- ・活気がある。縦割り活動や行事で学級、学年を越えての子ども同士の関わりの中、自立心や責任感が育まれている。価値観のひろがりを感じる。
- ・学習中、班で意見を伝えたり話し合ったりすることで、協調性や自立心等が育まれていると思う。

○学校・教職員の姿から思うこと

- ・学校が目指していることや行事の取り組みがわかりやすい。社会人になっての基本を指導してもらっていることに感謝している。
- ・一丸となって子どもと向き合っているように感じる。